

## 吹田市立図書館の基本方針と目標

### 1 基本方針

吹田市立図書館は、「ユネスコ公共図書館宣言」などに謳われた公立図書館の理念に基づき、必要な資料を「いつでもどこでもだれにでも提供する」、市民本位の図書館サービスを行うとともに、我々の使命である《資料・情報の提供と保存を通じて、市民の社会的活動や子供の成長を支援するとともに、生活に潤いを与え、よって吹田のまちづくりと地方自治発展に役立つ》図書館事業の展開を図ります。〔吹田市立図書館基本構想による〕

### 2 運営方針(五つのお約束)

(1) さがしものは何ですか。

吹田市立図書館は、あなたが欲しい資料を必ず見つけます。

(2) 知りたいことは何ですか。

吹田市立図書館は、あなたの疑問に必ず答えます。

(3) 困っていることは何ですか。

吹田市立図書館は、あなたの生活をサポートする情報を必ず提供します。

(4) やりたいことは何ですか。

吹田市立図書館は、あなたのやる気を必ず応援します。

(5) 地域資料の収集と活用に努め、必ずまちづくりに貢献します。

〔市内全体の状況〕

面積:36.09 km<sup>2</sup>

市内には4つの家庭文庫や地域文庫があります。

図書館統計は令和3年度末(自動車文庫を含む)

項目	数値	備考
人口 (うち0歳~14歳)	378,781 人 (52,517) 人	人口は令和4年3月末現在、外国人登録者を含みません。
登録者数	103,457 人	登録者は広域利用者在勤在学者を含みます。
市内の実利用者数	56,385 人	実利用者は市民のみで、団体貸出等は含みません。
延利用者人数	895,935 人	
来館者数	1,560,616 人	
個人貸出点数 (含むAV全館分)	3,622,360 点	貸出点数は団体貸出を除きます。
年間購入冊数	31,402 冊	
蔵書数	1,157,793 冊	

### 3 アクションプランに沿った主な事業計画と目標

平成 25 年(2013 年)4月1日策定の吹田市立図書館基本構想に示された、各種の事業の進捗状況を点検しながら、その実現を図っていきます。全館で取り組む課題を以下にまとめます。

#### 基本目標 1

地域の情報拠点として、いつでも、どこでも、だれにでも、役立つ図書館サービスを目指します。

#### 取組 1 図書館施設及びサービス網の整備

事業名	目 標	
(仮称)吹田市立図書館サービス基本計画の策定	◎「吹田市立図書館基本構想」が平成 25 年(2013 年)4月の策定から計画の終期である 10 年を迎えることから、国・社会の動向や図書館の現状と課題を踏まえ、次の 10 年間の図書館活動の指針となる「(仮称)吹田市立図書館サービス基本計画」を策定します。(令和5年度～令和 14 年度)	
サービス網の整備	北千里小学校跡地複合施設の整備	◎北千里小学校跡地における複合施設(まちなかりビング北千里)の令和4年 11 月の供用開始に向けて準備を進めます。
	江坂図書館の再整備	◎江坂公園及び江坂図書館における Park-PFI(※1)による再整備並びに指定管理者による管理・運営について、令和 4 年度末の供用開始に向けて準備を進めます。
広域連携の推進	◎北摂7市3町並びに大阪市との広域利用について、引き続き自治体間で連携し利用増加を図ります。 ◎NATS(西宮・尼崎・豊中・吹田)図書館連絡会を通じ、府県をまたいだ連携について引き続き研究を進めます。	

## 取組2 利用促進

事業名	目 標	
年間貸出冊数の目標達成(個人貸出)	貸出点数	4,320,000点
貸出機能の向上	◎令和4年(2022年)3月に開始した新規利用登録や借出カードの有効期限更新のWeb申請を周知・宣伝を図り、登録者数増を目指します。	
広報・情報発信機能の推進	◎令和3年(2021年)1月に更新した新しい図書館ホームページ内のページ構成を見直し、利用者が情報を得やすいホームページを目指します。 ◎SNS(Twitter、Facebook)など、様々な広報媒体を活用した情報発信を行い、利用促進を図ります。	

## 取組3 資料と情報の提供

事業名	目 標
成人サービス	◎「図書館講座じゅずつなぎ」(※2)を10~11月にかけて各図書館で実施します。 ◎作成から年数の経過したパスファインダー(※3)や高齢者向け紙芝居リストを改訂します。
レファレンス (調査相談業務)	◎国会レファレンス協同データベース(※4)への事例登録を今年度も積極的に行います。また、パスファインダーについても登録をすすめるよう準備を行います。 ◎E-レファレンス(Webからのレファレンス受付)についても、PRをすすめ、より一層の利用促進を図ります。
地域資料の収集・保存と活用	◎写真データの保存と管理について、デジタル化をすすめ、ホームページ等で公開します。 ◎視聴覚資料(レコード・カセットテープ・ビデオ)の保存について、デジタル化に向けて準備を行います。
行政支援サービス	◎市がデジタルでのみ発行した資料の収集・保存方針について検討します。 ◎庁内において、各種図書館サービスの認知度を高め、利用促進を図ります。
児童サービス	◎夏休みにあわせ、最近1年間に出版されたおすすめの本を紹介した小冊子「もうよんだかな?」を作成し、館内で特設展示を行います。また、「もうよんだかな?ミニ版」を作成し、夏休み前に市内全小学生に配布します。 ◎おはなし会、えほんのじかんなどの定例行事、「子どもと本のまつり」(※5)、季節ごとのおたのしみ会などを引き続き実施し、本や図書館に親しみを持つきっかけを作ります。
YAサービス (※6)	◎夏休みにあわせ、最近1年間に出版されたおすすめの本を紹介した小冊子「てくてく」を作成し、館内で特設展示を行います。また、「てくてくミニ版」を作成し、夏休み前に市内全中学生に配布します。 ◎YA世代の利用促進を図るため、YAサポーターやてくてく編集委員の取組を継続して行います。

## 基本目標 2

生涯学習を支援して、仕事や暮らしを豊かにする図書館サービスを目指します。

### 取組1 施設や地域との連携

事業名	目 標
吹田市出前講座の充実と活用	◎実施した出前講座の様子を情報発信することで認知度を高め、次の需要を掘り起こしていきます。 ◎オンラインでの開催や動画の配信等について研究をすすめます。
吹田市各部署との連携	◎まなびの支援課、文化財保護課(博物館)、環境政策室、健康まちづくり室など、吹田市各部署と連携を進め、生涯学習の推進と図書館利用の促進を図ります。

### 取組2 自己実現の援助

事業名	目 標
ボランティア活動の推進	◎図書館フレンズ(※7)について、周知・宣伝方法の工夫を図り、50名以上の登録を維持します。また、活動日誌を参考にフレンズ自身の意見を取り入れて活動内容の充実を図ります。 ◎ボランティア養成講座の実施と修了者の登録促進や活動継続促進のための働きかけを行います。
市民参加の推進	◎市民作品展示(※8)など市民参加の企画を実施します。

### 取組3 図書館利用に障がいのある人へのサービスの充実

事業名	目 標
障がい者サービス	◎「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律(読書バリアフリー法)」(令和元年6月)の公布・施行に伴い、「吹田市視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画(吹田市読書バリアフリー計画)」を令和4年度中に策定し、バリアフリー読書サービスをすすめます。 ◎アクセシブルな書籍等の充実を図るため、録音図書100タイトル、点字図書25タイトル、さわる絵本1タイトルの製作を目指します。 ◎図書館の障がい者サービスに対する認知度を高める取組を行います。
来館困難者へのサービス	◎非来館型サービスの一環として導入した、電子図書館サービス(「すいた電子図書館」)の利用促進を図ります。 ◎身体障がい者手帳等の交付を受けている方に、図書・雑誌の郵送貸出サービスを引き続き行います。

#### 取組4 特色あるサービス

事業名	目 標
ビジネス支援サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ビジネスをテーマとした講座を開催します。(年1回)</li> <li>◎「ビジネス支援だより」を起業家交流会の開催に合わせて発行します。(年2回以上)</li> </ul>
健康・医療情報サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎近隣の医療機関と連携し、講座を実施します。</li> <li>◎ブックリストやパスファインダーを作成します。</li> <li>◎専門家による推薦書コーナーを設置するなど、専門知識を生かした情報提供を行います。</li> </ul>

#### 基本目標 3

子育てや学校の支援を通して、子供の健やかな成長に役立つ図書館サービスを目指します。

事業名	目 標
子ども読書活動推進計画	◎平成25年(2013年)3月の改訂から9年を経て、国・社会の動向や子どもの読書活動を取り巻く状況の変化をふまえ、「第2次吹田市子ども読書活動推進計画」を策定します。(令和5年度～令和9年度)
子育て支援サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ブックスタート(※9)の絵本配付率向上を目指します。(前年比増)</li> <li>◎保育園の赤ちゃん会や離乳食講習会に参加し、事業の説明、絵本の配布を行います。</li> <li>◎全館で「抱っこで絵本講座」(※10)を開催し、保護者への読書支援を行います。</li> </ul>
学校連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎令和3年(2021年)9月から開始した小中学校等への月1回の連絡便を継続して運行し、定期的な物流を確保します。</li> <li>◎市立小・中学校の児童・生徒に1人1台貸与されている学習用端末で「すいた電子図書館」を利用できるようにします。</li> <li>◎教諭との交流や読書活動支援者への技術的サポートを引き続き実施します。</li> </ul>

## 4 吹田市立図書館各館の運営について

吹田市立図書館は、中央図書館、7つの地域図書館、2つの分室でサービスを提供しています。各館で取り組む課題を以下にまとめます。

### 4-1 中央図書館

#### [中央図書館のキャッチフレーズ]

26万冊の資料は吹田市民の宝。古い地図や絶版本など、貴重な資料が一杯です。

市立図書館の中心館として、皆さんの知的活動を支えます。

#### [令和3年度の課題]

- コロナ禍による影響は残っていますが、講座や行事を徐々に再開し、リニューアル後の図書館の利用促進を図りました。
- 自動車文庫車輛廃止の次期事業として、利用不便地域にお住まいの方向けに予約配本を開始しました。
- 市内全小中学校向けに月1回の定期便の運行を開始しました。学校の学びに合わせ、さらなる増便が望まれています。

#### [令和4年度の目標]

##### 中央図書館として

- (仮称)吹田市立図書館サービス基本計画  
市民向けワークショップを開催し、知識人や関係団体の意見も聴取しながら、計画を策定します。
- 企画調整  
吹田市立図書館の中心館として、「子どもと本のまつり」や「図書館講座じゅずつなぎ」などの全館で行う様々な主催事業や各種サービスの企画調整を行います。
- 地域行政資料  
吹田市民の著作物、地域を主題とした資料、および吹田市が刊行する行政資料など、吹田市立図書館でしか収集・提供できない地域行政資料を網羅的に収集・提供します。録音、映像、写真、パンフレットなどの資料も積極的に収集・整理し保存活用を進めます。

○ 子ども読書活動支援センター(※11)

学校や留守家庭児童育成室、家庭文庫の窓口となり読書活動を支援します。定期連絡便による学校や留守家庭児童育成室への団体貸出、教員や読書活動支援者への研修を行います。また、市立小・中学校の児童・生徒に1人1台の学習用端末で気軽に電子書籍にアクセスできる環境を整えます。

昨年度に引き続きガンバ大阪の協力を得て、ガンバ大阪プロパティ(ロゴ)と吹田市イメージキャラクター「すいたん」を使用した「読書貯金(すいぽんつうちょう)」(※12)を作成しました。また、「おめでとう!ねんせい」のリーフレットと併せ、市内の新小学1年生に配布しました。

○ 児童サービス

小中学生全学年対象に「もうよんだかな?」「てくてく」の冊子の作成配付を行い、年齢別おすすめの本リストの作成配付も継続して行います。

また、児童文学に携わる講師陣による「子どもと本の講座」を吹田子どもの本連絡会と共催で開催します。

**【施設概要】** 統計数値は、令和3年度末

供用開始	昭和46年(1971年)11月25日。 令和3年(2021年)1月12日リニューアルオープン。
専用床面積	3452.84㎡
来館者数	152,163人
個人貸出点数	311,983点
蔵書数	287,280冊

※統計数値には、自動車文庫を含みます。

## 4-2 千里図書館

### [千里図書館のキャッチフレーズ]

図書館はあなたの居場所です。図書館デビューしませんか。

## 千里図書館は、あなたの生きがいを応援します

### [令和3年度の課題]

#### 千里図書館

- 多目的室の利用促進
- 起業コーナーの利用促進

#### 北千里分室

- 北千里地区公民館との連携促進
- 新図書館(北千里図書館)への移転に向けた資料の整理・収集

### [令和4年度の目標]

#### 千里図書館

- 児童向け行事、親子がのんびりと読書できる「親子わくわく読書ひろば」(※13)、成人向けの講座等を開催し、地域の交流拠点となるよう、多目的室の利用促進を図ります。
- 地域経済振興室と連携し、平成29年から設置した「起業コーナー」の資料を充実させます。
- 健康・医療情報サービスでは、地域の医療機関と連携した講座の開催を継続する他、資料を充実させ、積極的な情報提供を行います。

#### 北千里分室

- 現在の分室でのサービスも継続しながら、新図書館の開館準備を進めます。
- 11月末に開館予定の新図書館では、資料を充実させ、閲覧席を設け、地域の交流拠点を目指します。

### [施設概要] 統計数値は、令和3年度末 ※統計数値には、北千里分室を含みます。

供用開始	昭和53年(1978年)4月1日。 平成24年(2012年)9月3日現在の場所に移転。
専用床面積	930.94 m <sup>2</sup>
来館者数	296,218人
個人貸出点数	751,961点
蔵書数	132,083冊

※北千里分室 昭和56年(1981年)4月1日供用開始。専用床面積155 m<sup>2</sup>。

### 4-3 さんくす図書館

[さんくす図書館のキャッチフレーズ]

JR吹田駅から徒歩1分！ 近くて便利な図書館です。

## 子育てからまちづくりまで

#### [令和3年度の課題]

- シニアコーナー、ハロージョブコーナーの充実と利用促進
- 認知症パスファインダーの改訂
- サービス区域内の幼稚園・保育園の全園訪問

#### [令和4年度の目標]

- 関連するパンフレットや認知症パスファインダー等を設置し、資料の見せ方に工夫をこらすことで、シニアコーナーの資料充実と利用促進を図ります。
- 社会の動向を捉えた資料を選定するとともに、関連するパンフレットを収集することで、ハロージョブコーナーの充実と利用促進を図ります。
- サービス区域内の幼稚園・保育園全園を訪問し、絵本の読み聞かせ等を行うことで、子供たちの読書活動推進と図書館の利用推進を図ります。

#### [施設概要] 統計数値は、令和3年度末

供用開始	平成5年(1993年)7月1日
専用床面積	883㎡
来館者数	130,134人
個人貸出点数	250,726点
蔵書数	81,426冊

## 4-4 江坂図書館

[江坂図書館のキャッチフレーズ]

### 暮らし・ビジネス・文化、緑のまちの江坂図書館

企画書の書き方から里芋のむきかたまで・・・お役に立ちます

#### [令和3年度の課題]

- 国・府・市などの関連施設と連携したビジネス支援
- オンラインデータベースの利用促進

#### [令和4年度の目標]

- 7月から導入の指定管理事業者と協力し、近隣の企業体からのニーズを把握し、ビジネス支援を充実させます。
- 長期工事休館を経ての再オープンに向け、子育てや園芸に関する資料を充実させます。

#### [施設概要] 統計数値は、令和3年度末

供用開始	平成8年(1996年)4月1日
専用床面積	511.57㎡
来館者数	233,898人
個人貸出点数	434,867点
蔵書数	58,438冊

## 4-5 千里山・佐井寺図書館(ちさと)

[千里山・佐井寺図書館のキャッチフレーズ]

### 知的にまなぶ！あそぶ！つどう！

地域の方に愛された小学校校舎を再現した、居ごちのいい図書館です。

#### [令和3年度の課題]

- 文化活動・学習活動の場として、多目的室や復元教室の有効活用を図ります。
- コロナ禍においても、障がい者へのサービスが提供できるように、多様な手法を工夫します。
- 年間約27万人の市民が来館する図書館として、安心・安全・快適な読書環境を提供するために、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めつつ、築17年を経過した施設・設備の修繕・更新を進めます。

#### [令和4年度の目標]

- 図書館利用に障がいのある方へのサービス(音訳・点訳ボランティア養成講座の実施、音訳・点訳図書の製作・貸出、対面朗読サービス、墨字図書の郵送貸出等)をより多くの方に提供できるように努めます。
- 蔵書数が吹田市内で最も多く、全館の書庫機能を持つ館として、資料の保存と適正な蔵書管理に努めます。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、文化活動・学習活動の場として、多目的室や復元教室の有効活用を図ります。
- 年間20万人以上の市民が来館する図書館として、安心・安全・快適な読書環境を提供するために、築18年を経過した施設・設備の修繕・更新を進めます。

#### [施設概要] 統計数値は、令和3年度末

供用開始	平成16年(2004年)5月19日
専用床面積	3327.58㎡
来館者数	207,911人
個人貸出点数	518,440点
蔵書数	306,068冊

## 4-6 千里丘図書館

[千里丘図書館のキャッチフレーズ]

### **環境にやさしい、子育てにやさしい、 障がい者や高齢者にやさしい**

「やさしい」をコンセプトに、生活に寄り添った図書館を目指します

#### [令和3年度の課題]

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、行事の急な中止等があり、図書館を幅広い世代の交流の場として活用してもらうことが出来ませんでした。

#### [令和4年度の目標]

- 図書館主催の行事に加え、高齢福祉室の健康相談などでも多目的室を活用し、幅広い世代の方に利用される、地域の交流の場としての図書館を目指します。
- 子育て世代から高齢者まで様々な世代に対して自己実現の場として、市民作品展示を積極的にPRし、利用促進に努めます。(毎月2人以上の利用)
- 市民作品展示に応募された市民による講座を実施します。

#### [施設概要] 統計数値は、令和3年度末

供用開始	平成25年(2013年)1月9日
専用床面積	840.37㎡
来館者数	145,897人
個人貸出点数	390,913点
蔵書数	71,666冊

## 4-7 健都ライブラリー

[健都ライブラリーのキャッチフレーズ]

### 健康に「気づき」「楽しみ」ながら「学べる」図書館

隣接する公園と一体的に利用することで、健康づくりのお役に立ちます。

#### [令和3年度の課題]

- 健康・医療・スポーツコーナーの資料の充実を目指し、令和3年度は約400冊を購入し、コーナーの資料を前年度よりも8%増やしました。レファレンス等を通じてより一層利用者のニーズに合った書架構成を探る必要があります。
- 健都(北大阪健康医療都市)内の病院との連携事業として、大人から子供まで参加できるイベントを夏休みに開催しました。講座開催については、コロナ禍で令和3年度は見送りとなりました。
- 指定管理事業者が主催する講座や行事に対して、ブックリスト作成や特設の設置などで、連携を図りました。図書館の利用目的でない施設利用者の来館が、図書館利用増につながっています。

#### [令和4年度の目標]

- 健康・医療・スポーツコーナーの書架構成について、健康まちづくり室の保健師など医療知識を持った職員の意見を反映し、資料の充実を図ると同時に、レファレンスサービスの向上に努めます。
- 健都内の病院との連携をさらに進め、医療に関するパスファインダーの作成を行います。
- 指定管理事業者と連携し、施設利用者を図書館利用に結び付ける工夫をします。
- 指定管理事業者と連携し、健都の街についての情報提供を行います。

#### [施設概要] 統計数値は、令和3年度末

供用開始	令和2年(2020年)11月11日
専用床面積	1859.16㎡
来館者数	184,855人
個人貸出点数	347,292点
蔵書数	55,581冊

## 4-8 山田駅前図書館

[山田駅前図書館のキャッチフレーズ]

### 「つながり」を活かす図書館

- 青少年支援・子育て支援とのつながり 連携に重点を置いた図書館サービスの展開
- 地域とのつながり 地域の拠点として図書館サービスの充実
- 図書館ネットワークとのつながり いつでも、どこでも、だれにでも資料の提供を

#### [令和3年度の課題]

- コロナ禍による利用の減少
- 山田駅前図書館と山田分室の連携の強化

#### [令和4年度の目標]

##### 山田駅前図書館

- 書架を整理し魅力向上を図ることで、図書館の利用を促進します。(貸出数前年比増)
- 青少年や子育てを支援する拠点施設の中の図書館として、様々な主催行事、連携行事、または特設等を通じて、資料や情報と人とを繋いでいきます。

##### 山田分室

- 山田分室に所蔵していない資料(視聴覚資料、外国語資料、障がい者向け資料、マンガなど)を山田駅前図書館など他の市内図書館から借受けて展示、貸出します。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、行事の実施回数を増やしていきます。

#### [施設概要] 統計数値は、令和3年度末

供用開始	平成23年(2011年)3月27日
専用床面積	930.94㎡
来館者数	209,540人
個人貸出点数	616,178点
蔵書数	158,859冊

※統計数値には、山田分室を含みます。

※山田分室 昭和62年(1987年)4月1日供用開始。

(平成23年(2011年)3月26日から分室)専用床面積 379.82㎡。

## 図書館語句解説

### ※1 Park-PFI

飲食店等の「公募対象公園施設」の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の広場等の「特定公園施設」の整備・改修等を一体的に行う者を、公募により選定する制度。(平成29年(2017年)都市公園法改正により創設。

令和4年度(2022年)以降、江坂公園においてPark-PFIが導入され、公園の再整備が行われることから、江坂図書館においても一体的な魅力向上を図るため再整備を行う。

### ※2 図書館講座じゅずつなぎ

平成16年度(2004年)から毎年10月から11月にかけて一般向け講演会として全館で行っている。じゅずのように連続して次々に各館で実施することから名づけられた。当初は、吹田市にゆかりの講師や、文化についてのテーマを設定していたが、現在は各図書館で趣向をこらし、市内各施設と連携するなどバラエティに富む構成となっている。

### ※3 パスファインダー

ある特定のテーマについて、資料や情報を探するための手順を簡単にまとめたもの。

基本的に吹田市立図書館を使って調べものをするを念頭に置いて、現在、一般向け3種、児童向け2種作成。

### ※4 国立国会図書館レファレンス協同データベース

国立国会図書館が全国の図書館や調査機関等と協同で構築する調べ物のための検索サイト。

参加館の質問・回答の事例、調べ方など、調査に役立つ情報を公開している。吹田市立図書館も平成17年(2005年)から参加している。事例がインターネットで公開される。

### ※5 子どもと本のまつり

令和4年度(2022年度)で第39回を迎える子どもと本のまつりは、子供に本を読む楽しさや喜びを知ってもらうために、地域・家庭文庫の方々や子供の本の研究を続ける市民で構成される「吹田子どもの本連絡会」との共催で毎年4月23日(子ども読書の日)から約1か月間、講演会や工作教室、似顔絵大会、おはなし会などの子供向け行事を市内の全図書館で行っている。令和2年度は、緊急事態宣言発令による臨時休館により中止。

## ※6 YAサービス

YAとはヤングアダルトの略で、吹田市立図書館では12歳～18歳を対象としたサービスをいう。YA世代の興味・関心にこたえる読みやすい本や役立つ本をYAコーナーに設置するほか、図書館職員と一緒にイベントや本の紹介を行うYAサポーターなどの取組がある。

## ※7 図書館フレンズ

平成24年(2012年)から個人登録のボランティアとして図書館が募集し、活動しているグループの名前。当初、前年度の3月に募集していたが、平成31年度(2019年度)より通年募集を開始した。毎年度末までの登録。図書館の装飾、行事の補助、データ入力等様々な活動の中から、都合の良い時間にできることを選び、活動をしていただく、市民協働事業の一種。

## ※8 市民作品展示

千里丘図書館において、市民の作品を2ヶ月ごとに募集して館内に展示し、来館者に楽しんでもらっている企画。平成28年度より実施。

## ※9 ブックスタート

ブックスタートの発祥は英国バーミンガム市。国の法律・計画の制定時にも明記されるようになった。絵本を通じて親子の絆を深め、心豊かな成長を支援することを目的とする。吹田市では、絵本のプレゼントとボランティアグループ「りんごの木」の協力のもと、0歳・1歳の赤ちゃんとその保護者を対象に、絵本の読み聞かせや手遊び・わらべうたの実演を行う「ブックスタートのひろば」を実施。

## ※10 抱っこで絵本講座

1歳児とその保護者を対象とした絵本の読み聞かせについて学ぶ3回連続の講座。読み聞かせの意義や年齢に合った絵本の選び方、読み聞かせの仕方を学んでもらう。実際に親子で絵本を読んでいただき、読むスピードやページをめくるタイミングなどを具体的に学ぶ。

## ※11 吹田市子ども読書活動支援センター

「吹田市立図書館基本構想」(平成25年(2014年)3月策定)の第2章図書館サービス計画の中で学校、幼稚園、保育園、児童会館、児童センターとの連携を進めるための、図書館の総合的な支援体制機能。令和4年度は、学校との連携事業を担う。学校との定期的な物流の継続が大きな課題となっている。

※12 読書貯金(すいぼんつうちょう)

小学生を対象に読書振興のために配付している読んだ本の感想などを記録できる小冊子。

1冊いっぱいになると「にんていしょう」に貼るシールをお渡しする。

※13 親子わくわく読書ひろば

就学前の乳幼児と保護者に千里図書館多目的室に集ってもらい、お互いが周囲を気にせず  
に絵本や紙芝居等を楽しむ時間を過ごしてもらおうもの。